ひかりどうえんを支える会のみなさま

光明童園を離れて生活を始めた頃は、新しい環境に慣れることに精一杯で、寂しさを感じる余裕はあまりありませんでした。でも、延長制度が終わった頃や、一人暮らしに慣れてきた頃に、「本当に支えてもらっていたんだな」と実感する場面がたくさんありました。

特に、書類の手続きや生活の中で分からないことがあった時に、気軽に相談できる関係をつくってもらえていたことは、とても安心につながっていました。
今でも「いつでも帰っておいで」と迎え入れてくれるような場所があることは、私にとって大きな心の支えです。

また、童園で生活している時は、自分の家庭環境を周りと比べてしまうこともありました。
でも今は、それも自分の個性や強みの一つとして前向きに考えられるようになりました。

進路についても、「大学は難しい」と最初から決めつけられることなく、専門学校や大学など、自分で選択肢を選べる環境をつくってもらえたことに感謝しています。そして、その選択を支えてくれる大人がいたことは、本当に心強かったです。
自分の可能性を狭めずに挑戦できたことは、今の自分につながっていると思います。

現在は大学生活を送りながら、一人暮らしとアルバイトにも取り組んでいます。初めて経験することばかりですが、その一つ一つが自分を成長させてくれていると感じています。

これからは就職し、社会人として新しい生活が始まります。将来、転職することがあるかもしれませんが、どんな場所でも「自分はこれを頑張っている」と胸を張って言えるような働き方をしたいと思っています。

最後になりますが、これまで支えてくださった支える会のみなさま、職員の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんのおかげで今の私があります。これからも感謝の気持ちを忘れず、自分らしく前に進んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。

大学４年　卒園生